

常任委員会の審査概要

文教福祉



当常任委員会に付託された案件は、補正予算担当分4件、一般会計決算担当分、特別会計決算3件の計8件で、2日間にわたり慎重な審査を委員全員出席のもと行いました。

がら対応している状況であるとのこと。討論なし、採決の結果、賛成多数で原案のとおり認定。

設への入所者の人数は増えている。平成18年度に報酬単価は引き下げられ、影響はあるものと考えている。施設給付費の全体は伸びているとのこと。討論なし、採決の結果、賛成全員で原案のとおり認定。

なされ、交付決定があったとのこと。討論なし、採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決。

第56号議案 平成19年度吉川市一般会計歳入歳出決算の認定について担当分では、屋外プールについて平成19年10月に漏水との指摘があり本格的に今年度調査を実施したが、箇所が特定できず配管のやり直しが必要で来年度の開場に向け指摘箇所の精査をしているとのこと。新給食センターは早めに結論が出るのかに対し、学校給食センター運営委員会に諮問し、PFI方式でと答申をいただき、現在、用地取得について県と協議しているとのこと。福祉関係では、保育料収納率が前年対比1.1ポイント下回ったとあるが、保育料未収問題についてどう考えているかに対し、収納率は低下傾向にある。収納課と違い、通常業務以外で対応するため厳しい状況ではあるが、マニュアルの作成、今年度は差し押さえ1件実施すると共に、随時、分納相談も行いな

第57号議案 平成19年度吉川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定については、全国的に保険証を持たない子どもがいる世帯があるが、保険証を持たない世帯についてのどのように考えているかに対し、資格証を75世帯に発行しているが、未就学児及び老人保健法の適用を受けている方には資格証の発行をしていないとのこと。採決の結果、賛成多数で原案のとおり認定。

第63号議案 平成20年度吉川市一般会計補正予算(第2号)担当分では、中曽根小学校体育館の雨漏りの修繕等。また、総合体育館、旭公園球場、温水プール(電動バルブの交換、ろ過タンクの交換、女子トイレ・障がい者トイレ等)の修繕を行うとのこと。福祉関係では、障がい者日常用具給付費の増額では、利用者の数も増え障がい者の方に不便が生じないようにするものである。討論なし、採決の結果、賛成全員で原案のとおり可決。

第66号議案 平成20年度吉川市老人保健特別会計補正予算(第1号)では、平成19年度事業の確定に伴う支払い基金や国庫支出金の清算交付と県負担金等の返還である。また、後期高齢者医療保険制度が開

算の認定については、後期高齢者医療保険制度が開始され、老人保健特別会計はいつまで残るのかに対し、平成21年度までとのこと。討論なし、採決の結果、賛成多数で原案のとおり認定。

第59号議案 平成19年度吉川市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定については、後

第64号議案 平成20年度吉川市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)では、前期高齢者交付金の減額はの質疑に対し、65才以上74歳までの被保険者の加入率に応じて財政調整している。交付金について市が決定するものではなく、

第68号議案 平成20年度吉川市介護保険特別会計補正予算(第1号)では、繰越金があり、8千万円ほどの実質収支となっており、国などへの負担金の精算や、事務費や負担金の精算を行うと残りは約2千万円で、基金に積み立てることになるが、3年間の収支としては約2千万円積み立てても厳しいと考えている。今回積立できるのは、昨年度の施設給付が予定よりも少なかったからであるとのこと。討論なし、採決の結果、賛成

も続くのかの質疑に対し、施設サービスマンが減少している。報酬単価などが影響し、今後

第61号議案 平成19年度吉川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定については、施設サービスマンが減少している。報酬単価などが影響し、今後

第65号議案 平成20年度吉川市一般会計補正予算(第1号)では、平成20年度は、特別会計の歳入歳出決算の認定については、後期高齢者医療保険制度が開始され、老人保健特別会計はいつまで残るのかに対し、平成21年度までとのこと。討論なし、採決の結果、賛成多数で原案のとおり認定。

第67号議案 平成20年度吉川市一般会計補正予算(第1号)では、平成19年度事業の確定に伴う支払い基金や国庫支出金の清算交付と県負担金等の返還である。また、後期高齢者医療保険制度が開